

単位

普段はあまり気に留めない単位。しかし、この世に単位が無くなったとしたら大変なことになる。単位は、安心して暮らせる社会を支えているし、人と人、また人と自然をつなぐ役割を担っている。

単位に親しむ活動で、苦手意識を解消



新聞記事の中の単位で見つける

- ① 一人ひとりに新聞のコピーを配布し、書かれている単位を覚えさせる。
- ② 覚えた単位は、マジックで塗りつぶさせる。
- ③ その新聞を友達と交換させ、塗りつぶしたところにどんな単位が入るかを互いに考えさせる。
- ④ 互いに正解を教え合わせる。

学級内の調べもの等で単位を創作

- ① 学級の調べものの中で、数に関係するものを選び出させる。
〈発表回数、宿題忘れ、友達の良いところ見つけ、迷惑行動…等々〉
- ② 単に「何回」という表現ではなく、それぞれにイメージする単位を創らせる。
- ③ 例えば、「友達の良いところ見つけ」でカードに書く活動の場合、1枚のカード毎に「1良、2良…」と、また、「迷惑行動」をした場合、「1バツ、2バツ…」と、さらに、それが10回溜まれば、大きな新しい単位として「1ダメ」等々、子どもに創らせる。



今の洒落は、「7ウケ」レベルで面白かったよ。

新聞・テレビ等で報道された記事内容を知らせ、喜びや怒りに単位をつけて数値化させる活動。
「この活躍への喜びは、6バンザイです」
「この行為への怒りは、9イラです」等々

単位を定量的に経験して身体で実感

- ① Aさんに、牛乳ビン1本（200ml）に水を入れて準備させる。
- ② 体重計に載ってBさんに、自分の体重を確認させる。
- ③ AさんがBさんに、準備した牛乳ビンを渡して飲ませる。
- ④ 飲み終わったら、Bさんの体重を確認させる。



単位を使わずに伝えるゲーム

- ① 子どもたちをA班とB班に分ける。（2～3人の班を作る）
- ② A班は、棒の長さや駆け足の速さ等、単位を使わずにB班に伝えさせる。
- ③ B班に、A班から伝えられた量を再現させる。

速さを脈拍数と歩幅で表現すると…